

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成23年5月2日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670105149号
法人名	有限会社 パッション
事業所名	グループホームかすが
所在地	鹿児島県鹿児島市春日町8番25号 (電話) 099-248-1058
自己評価作成日	平成23年2月18日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成23年3月7日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

10時のお茶前に入居者様の弾いて下さるオルガンの曲に合わせて利用者全員廊下での歩行練習をしている。  
手すりつかまえての歩行・車椅子おりて手引き歩行・他の人に自分の車椅子に座っていただき車椅子押しての歩行練習・友達と手をつないでのワイワイ歩行練習。各々であるが、歌を歌い歩かれる顔の表情は明るい。  
開設より入居者様やご家族様と馴染みの関係を作り、信頼関係を築いている。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

記録には全職員が関わっており「その人の出来ることを生かす」「外出の機会作りの工夫」、パーソンドケアに心がける事などプランの中に組み入れて、全てを共有してケアに関わっている。管理者は職員、家族、利用者、地域住民の方々と話し合える場作りに努めており、家族や地域の人々から信頼と喜びが寄せられている。利用者は「人は人中での生活」「場は出かけやすい環境」に恵まれ、近隣の人々と密接な関わりを持ちながら研鑽意欲の高い職員と共に、工夫された食事を楽しみ、健康で笑顔のあるごく自然な暮らしを継続している。

鹿児島県 グループホームかすが 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝、申し送り時、理念を唱和。内容を確認。意識づけを行っている。	基本理念をもとに地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成し、ネームの裏に明示している。さらに毎朝唱和したり、申し送り時に確認し合い日々のケアに活かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入しており、近所のスーパーでの買い物、散歩など多く行っている。	町内会に加入しており、回覧板を利用者と一緒に配布しながら地域の情報を得ている。町内会の清掃やバザー、公民館行事時に認知症やホーム運営などに理解を得られるよう努めている。また幼稚園、小学校の運動会に参加したり、地域ボランティアを受け入れ、住民が気軽に介護についての相談が出来るよう配慮し、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	保育園への行事参加。運営推進会議を定期的に行う。各委員と意見交換をし、認知症への理解や支援の方法など話し合いを行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行事開催のお知らせ・内容結果など報告し感想・意見など伺い、又地域の情報をお聞きし、サービス向上に活かしている。	行政職員、住民代表、家族代表の参加を得て定期的に行われている。運営会議で要請され町内会に出席し、ホームに対する地域の理解がなされるよう努めている。貴重なアドバイスや意見は、運営に反映されサービスの質の向上に活かされている。	

鹿児島県 グループホームかすが 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センター、高齢者福祉課への相談連携を図っている。	運営推進会議時や介護相談員の来園時に、ホームのサービスや運営について相談し、助言などをもらい、協力関係を築きサービスの質の向上に取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	月一回ミーティング時に話し合い、正しい理解を深めている。	ミーティングや勉強会時に日常的に意見交換や振り返りをしながら身体拘束は行わないケアに取り組んでいる。玄関、居室は施錠せず見守りに努め本人ペースの自由な暮らしが保たれている。身体拘束委員会も活動し徹底した啓発に努力している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ミーティングに於いて、話し合いや勉強会、虐待防止の確認に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度についての資料や話し合いなどで、学ぶ機会を設け、必要性の確認など行っている。		

鹿児島県 グループホームかすが 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には、十分に説明を行い、理解・納得を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を設置しており、ご家族様、来訪時に声かけを行い、意見・要望を表せる機会を設けている。</p>	<p>利用者の状況を電話や手紙で報告し、面会時や行事参加時に要望や意見を引き出している。利用者、家族、職員が気軽に話し合えるよう工夫し、出された意見や要望は対応に努め運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>申し送りやミーティング時、職員の意見を聞いたり、日常的に職員間のコミュニケーションがとれる様努力されている。</p>	<p>職員会議や申し送り時に職員の気付きやアイデアを聞き、ケアに取り入れている。既資格取得者も積極的に職員研修に参加し、資格を取得したい職員を支援する体制も充実している。職員間の情報交換などもスムーズに行われ運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>努力されています。</p>		

鹿児島県 グループホームかすが 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員からの研修参加の希望あった時、勤務調整を行い、参加しやすい体制作りをしている。研修内容をミーティング時に報告する事で全体的なスキルアップに努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>外部研修での交流を図るなどサービスの質の向上を目指した取り組みを行っている。</p>		

鹿児島県 グループホームかすが 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初期には会話を多く持ち、要望や不安については説明を十分に行い、傾聴し関係づくりにつとめている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族と積極的に関わり話す機会を設け、不安や要望の傾聴に努め、安心が得られる様な説明を行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	心身の状態観察、スタッフ間の情報・意見交換などを通じて、支援の見極め、他サービスを含めた利用など、検討している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常の作業を分担し、それぞれの状態に合わせて、一緒に行い支えあう関係性を築いている。		

鹿児島県 グループホームかすが 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事や誕生会などには家族にも出席頂き、交流の機会を設けている。面会時には状態を報告、協力も頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や本人からの情報収集に努め、自宅や親せき宅への外出・外泊、友人等の面会を支援している。	利用者の友人、知人、親戚などの来訪や外出、外泊に支援したり、希望に応じて墓参りや自宅訪問、なじみの美容室などに出かけて関係継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	全員参加でレクリエーションを実施し、利用者同士の交流を深め、孤立しない支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居されても、必要に応じ、相談支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の関わりの中で傾聴し、希望や意向の把握に努めている。	日々の関わりの中で利用者の言動や表情から察知したり、家族などから情報を得、意向の把握に努めている。日常の会話は傾聴に努め、得られた情報は職員と共有して思いや意向に応えられるように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人・家族、関係者からの情報の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎朝、バイタルチェックを実施。健康状態の確認。様子観察などを通じて、現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族の意向を確認し、スタッフ同士の意見交換、話し合いを行い現状に即した介護計画を作成している。	本人、家族などの意向をもとに職員でアセスメントやモニタリングを定期的に行い本人本位の介護計画を作成している。個別記録が充実しておりプランの見直しに活かされている。	



鹿児島県 グループホームかすが 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の出来事や変化等は日誌や個人記録に記入。申し送りやミーティングで情報の共有をして、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々にもまれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人、家族の希望に合わせて、買い物、受診、イベント見学など多機能的に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域での行事への積極的な参加。公園や神社参り、お花見等、本人が心身の力を発揮し、安全で豊かに暮らせるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望の上、納得されたかかりつけ医と信頼関係を築きながら、定期的に適切な医療を受けられるよう支援している。	本人、家族の希望するかかりつけ医の受診、往診が継続されるよう支援している。主治医や協力医療機関との連携をとりながら適切な医療支援が行なわれている。	

鹿児島県 グループホームかすが 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>協力病院の看護師と電話や、連絡ノートなどで連携を図り、適切に受診できるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>早期退院できるよう家族、病院のソーシャルワーカー、看護師との情報交換に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>状態変化に合わせて、家族、主治医、ホームで協議し今後の方向性を決定する体制をとっている。</p>	<p>重度化や終末期について家族や医師との話し合いがされている。ホームが支援できる方向性の統一は検討中である。</p>	<p>本人や家族、主治医、看護師、職員などと話し合い、ホームの支援出来る方向性を明文化し、家族など、職員ともに方向を共有される事が望まれる。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変や事故発生時に備えての勉強会を行っており、マニュアルや緊急連絡表を作成している。救急隊による、指導も行われている。</p>		

鹿児島県 グループホームかすが 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防訓練（昼夜想定）を定期的 に実施している。</p>	<p>消防署協力のもと、年二回避難訓練（昼、夜間想定）をしている。さらに定期的に自主訓練（火災や地震想定）を行い職員の意識向上に努めている。通報装置探知機、消火器連絡網体制、備蓄など完備されており、協力体制も築かれている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとり、プライドを傷つけない様に言葉を選び声掛け、対応している。	尊厳に対するケアのあり方をミーティング時や日々の支援の中で課題にしている。利用者のプライバシーを損ねないように居室やトイレのノック、声かけに配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	できるだけ入居者のわかる力にあわせた説明を行い、自己決定等、本人の思いを大切に支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大事にし、すごされる様支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人の希望に合わせ、スタッフと一緒に服を選んだり、訪問美容室の利用や、家族と馴染みの美容院に出かける事が出来るよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備は分担されており、利用者各自にランチョンマットや茶碗が用意されている。片付けも利用者とスタッフが一緒に行っている。	利用者の身体状況に合わせた食事形態、メニューに配慮しながら季節の食材を使い、下ごしらえ、片付けなど、役割を持ってもらい職員と一緒に食事を楽しんでいる。食事バランスの良さは利用者、家族などに定評があり楽しみごとのひとつとなっている。	

鹿児島県 グループホームかすが 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取の必要性はスタッフ全体が意識しており、毎日の水分・食事チェック表にて把握をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの声掛け・見守り・介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を用いて、排泄パターンを把握。 本人の状態に合わせてトイレ誘導・介助を行っている。	排泄記録により、パターンを把握し誘導に心がけている。昼間のオムツ使用者は無く、リハビリパンツと布パンツ使用であり、自立している利用者も多いが、身体が清潔に保持されるよう様々な配慮をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	献立に野菜や、食物繊維の多い物を多く取り入れ、乳製品の摂取をすすめている。散歩、廊下の歩行練習等も行っている。		

鹿児島県 グループホームかすが 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴の際は事前にお知らせ、お誘いしている。 その日の利用者の状況・体調等考慮し支援している。	基本的には各ユニット隔日おきの入浴日となっているが、本人の希望や身体状況に合わせた個別の入浴支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	様子や状態に応じて休息を促している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	用法や用量は服薬表を作成。 服薬は担当を決め確認後、一人ひとりに手渡し飲み込みまで確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	職員と一緒に掃除や茶碗洗い・洗濯物畳みなどできる範囲で役割を持って頂いている。又、買い物やドライブが好きな方など個々に支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望に沿って散歩、買い物、ドライブなど外出支援を行っている。	散歩や買物、イベント見学、ドライブ、花見、公園、神社詣で、墓まいりや自宅訪問など本人の希望を聞きながら、外出の機会作りを工夫している。	

鹿児島県 グループホームかすが 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理の出来る方は財布をもたれており、買い物時は好きなものを購入支払いをされている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族より電話がある時、取り次いだり、年賀状を書かれる時など支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節毎に季節感のある壁飾りに変え、音楽を流し、居心地の良い空間づくりをしている。</p>	<p>応接室や広いホールと和室は、採光、換気や温度、湿度、音にも配慮が行き届き、清潔感がある。また随所にくつろげるソファ・家具が配置され、行事毎の写真や装飾が掲示されて、落ち着きのある家庭的な共有空間である。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングや畳のスペースがあり、気の合った方々で思い思いに過ごしている。</p>		

鹿児島県 グループホームかすが 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた家具を持って来てあり、本人の好みに絵やパッチワークが飾られている。</p>	<p>テレビ、位牌、仏壇、藤椅子、テーブルセット、寝具、ぬいぐるみ、洋服かけ、鏡台、工芸品などなじみの物が持ち込まれている。また、居室入り口にのれんやドア人形など表札に工夫が施され個性的な居室作りとなっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している</p>	<p>廊下には手すりが設置され、部屋の入り口には表札。トイレ、浴室は絵と文字でわかり易く表示されている。</p>		



**V アウトカム項目**

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホームかすが 1ユニット

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホームかすが 1ユニット

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない